



『海の中の故郷（わが故郷 平戸にて）』

藤浦 洸

藤浦洸は明治三十一年、長崎県平戸町（現平戸市）に生まれ、県立平戸中学校（現・県立猶興館高等学校）を卒業。故郷平戸には、詩碑の他、生誕百年の記念碑も建立されている。崎方公園から平戸港に移設された詩碑には、次の詩が刻まれている。

月の夜ばい みち潮ばい

ばつてら出そたい 明笛吹こたい

伴田の孫やん踊らすばい

もうぢき瀬戸は たるむとばい

たるめばほんと がらす繪ばい

常燈の鼻の石垣が 水にうつつてがらす繪ばい

團伊玖磨作曲の「西海讃歌」の作詞も藤浦である。十九島を見渡す佐世保市弓張岳にも詩碑がある。

平成二十三年三月に閉校した長崎県立野母崎高等学校等県内の学校の校歌も作詩している。